

「愛媛FCに時の流れを感じます」

あれは、2005年の12月頃だったと思います。

知り合いから愛媛FCがJリーグに参入するに当たり、社内向けにJリーグのことで何か書いて欲しいと頼まれました。

とりたてて何かを書けるようなネタもなかったのですが、どうすればスタジアムに来てもらえるかなあということ考えた結果、1人で参加するよりも、家族で参加したら楽しいかなという思いもあって書かせていただいたものです。

あれから5年半…

息子たちが大きくなるとともに、一緒に応援する機会も減ってきました。

そのような中、先日の湘南ベルマーレ戦で2人の息子と一緒に観戦しました。

久しぶりでしたが、新鮮な気持ちと懐かしい気持ちが交錯しつつ、心地よさを覚えました。

「愛媛FCに元気をもらった」

この企画を知ったときに何か書けるものはないだろうか…

そこで思い出したのがこの社内向けに書いた文章でした。

今思うと、拙い文章だなあと思いますが、私の中で思い出のひとつとして残っていますので、原文ママにしておきます。

「親子で観戦することの大切さ」

愛媛FCの試合を観に行くようになったのは、JFL昇格の2001年からなので足掛け5年になるが、我が子を連れて行くようになったのは3年ほどくらい前からだったと記憶している。

初期の頃は、自分だけで観戦することが多かった。というのは、正直、子どもを連れて行くと、**試合観戦に集中できない**。これは仕方のないことと常々自分に言い聞かせているが、子どもからの様々な要求には容赦というものがない。

前半20分頃に決まって始まる「お腹がすいた！のどが渴いた！暑い！寒い！攻撃」はいつものこと。加えて、長男と二男（ツートップ）が揃うと必ず繰り出される得意技「お父さん、しりとりしよー攻撃」や「食べ物ひっくり返し攻撃」という〈カウンター〉が炸裂する。

私にとって、試合観戦とひっくり返った食べ物の処理という同時作業は常に困難を極めており、迅速な処理（セーフティ・ファースト）を試みるも、下を向いている間に過去三

度ゴールシーンを見逃している。（一度は我を忘れて、「拾って食べろ」と言ったこともあるが……）

そんな私が、懲りもせず、子どもを連れて行くのは何故か？それは、何と云っても子どもとの間に「共通の話題」ができるからである。

愛媛FCの試合での気になる選手の調子から始まってスタジアムの雰囲気や試合内容・結果がどうこう等々。一緒に観に行くことでしか発生しない共通な話題が、普段の子どもとのコミュニケーション不足を解消してくれている。（と私は勝手に思っている。）
そういう意味でも「愛媛FC」は、私にとっていろいろなものを与えてくれる重要な存在なのである。

今年からは、J2に舞台を移し、東京ヴェルディや柏レイソルなど、有名チームと対戦することもある。できることなら、アウェーにも行ってみたいと思っている。勿論、子どもを連れて……。ということで、皆さんも「親子で観戦」しに行ってみませんか？

最後に・・・試合中は勘弁して欲しいけど、早めに競技場に行ったときや帰りに渋滞に巻き込まれたときなど、結構（時間稼ぎに）役立つんですよ～。子どもとの「し・り・と・り」。

松山市在住 男性42歳 観戦歴10年